

地域コンテンツの流通モデル化に関する調査検討について(報告書 概要)

【実施目的】

地域コンテンツを継続的に流通させる仕組みづくりについて検討するため、ブロードバンド環境を有する地域において実証実験を行い、その課題や方策について検証し、地域活性化や人づくりに資する地域コンテンツ流通モデルの在り方について取りまとめる。

●目標

- ①地域コンテンツを継続的に流通させる仕組みづくりを検討するための実証実験の実施する
実証実験は、コンテンツの制作、蓄積・流通、消費(利活用)に関する実験を行い、地域活性化の可能性などの効果を測定する
- ②実証実験結果から地域コンテンツを継続的に流通させる仕組みづくりの課題・方策の検証する
- ③地域活性化や人づくりに資する地域コンテンツ流通モデルの在り方を検討する

【調査検討結果】

- | | |
|---------------------------------------|------|
| ①実証実験結果 地域コンテンツ流通の効果と主な考察 | 概要 ① |
| ②地域コンテンツを継続的に流通させるための課題解決のポイントと仕組みの提案 | 概要 ② |
| ③地域活性化や人づくりに資する地域コンテンツ流通のイメージを作成 | 概要 ③ |

【参考:実証実験等の概要】

●実証実験の取り組みについて

- ・実証実験フィールド 松山市を中心に徳島市、兵庫県内において地域コンテンツが生産、蓄積・流通、消費される実証実験フィールドを構築した
- ・実証実験期間 平成21年9月から平成22年2月
- ・効果測定 実証実験フィールドにおいて地域コンテンツ生産、蓄積・流通、消費に係わった個人・団体を対象に、地域コンテンツの可能性や動機付けなどについてアンケートやヒアリングを実施した

●実証実験に関する結果一覧 [参考資料](#)

【実験実施主体】

地域コンテンツの流通モデルに関する調査検討会 構成員:12会員、協力団体:10団体
事務局: 四国総合通信局情報通信振興課(コンテンツ流通促進担当)

地域コンテンツの流通モデル化に関する調査検討会 報告書の概要①

○地域コンテンツの流通モデル化に関する実証実験結果

実証実験は、愛媛県松山市を中心に、生産、流通、消費の3つのフェーズを循環する地域コンテンツ流通システム等の検証として、映像制作研修会、IPTVサーバを用いた配信実験、MobileWiMAXとスポットワンセグを用いたサイネージ実験、番組流通実験等を行うとともに、地域住民や地域メディアの方々に実証実験に参加をいただき、視聴や配信などを通して得られた感想や動機付けの有無などを収集し、地域コンテンツがもたらす効果として測定した。

地域コンテンツ流通による効果

★コミュニティの活性化

- ・映像制作研修会を通じて仲間づくりに繋がった。
- ・映像制作研修会でのノウハウが「他の人への技術伝授」に効果的

★地域再発見

- ・映像制作研修会を通じて地域の知らなかった魅力を認識した。
- ・地域コンテンツの視聴により、地域への関心が高まる

★地域活性化

- ・地域コンテンツの視聴により、行ってみたい、興味がわいたなどの動機付けに繋がる。

実証実験結果からの主な考察

★地域コンテンツは、従来メディアの地域情報(情報の鮮度や「お得感」を重視)と異なり、「作って楽しい」、「見て楽しい」という単純な楽しみが、人の繋がりを形成し、地域を元気にする重要な役割を果たしている。

★地域コンテンツの視聴機会(露出)を増やすことにより、消費者(視聴者)が地域コンテンツの魅力を感じ、自ら制作したいと感じる「潜在的生産者」の増加が見込まれる。

★地域コンテンツを手軽に制作・配信できれば、消費者(視聴者)が新たな生産者となっていく。

地域コンテンツの継続的な流通(生産、流通、消費)が地域活性化、人づくりに役立つ

地域コンテンツを継続的に流通させるための課題解決のポイントと地域コンテンツの利活用に繋がる具体的な仕組み等を提案

地域コンテンツの流通モデル化に関する調査検討会 報告書の概要②

地域コンテンツを継続的に流通させるための課題解決ポイント

○手軽なコンテンツ制作の実現

- ・インターネットを活用した「手軽な発信」とノウハウを確立

○地域内連携による制作の活性化

- ・情報発信の目的が明確な団体との連携
- ・情報発信ニーズと地域コンテンツ利活用ニーズのマッチング

○映像制作研修会の活性化

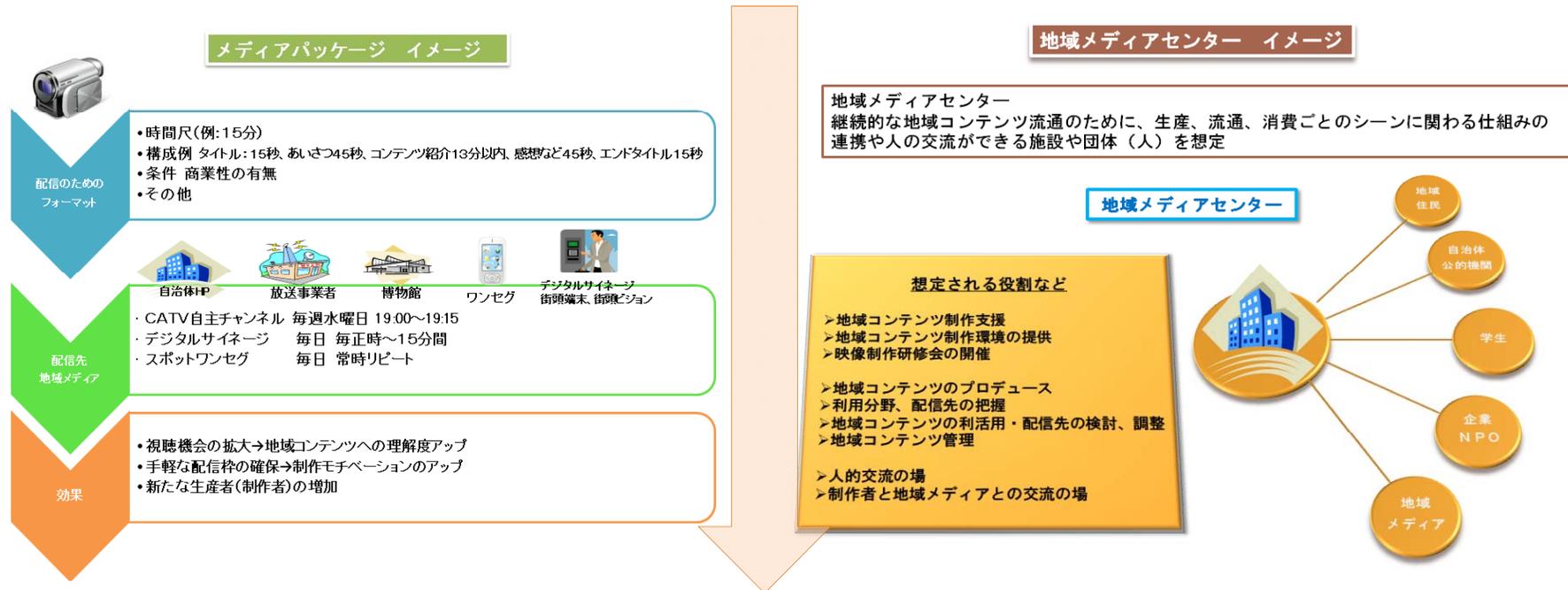
- ・インターネットを活用した映像制作研修会の開催
- ・映像制作研修会の受講生が講師へ
- ・恒常的な研修環境の実現

○手軽なメディアの利用

- ・CATV、ポータルサイト、商店街ビジョン、街角端末などの利用

○訴求力のある情報インフラの活用

- ・番組枠確保等のための責任の所在を明らかにした運営管理組織の確立

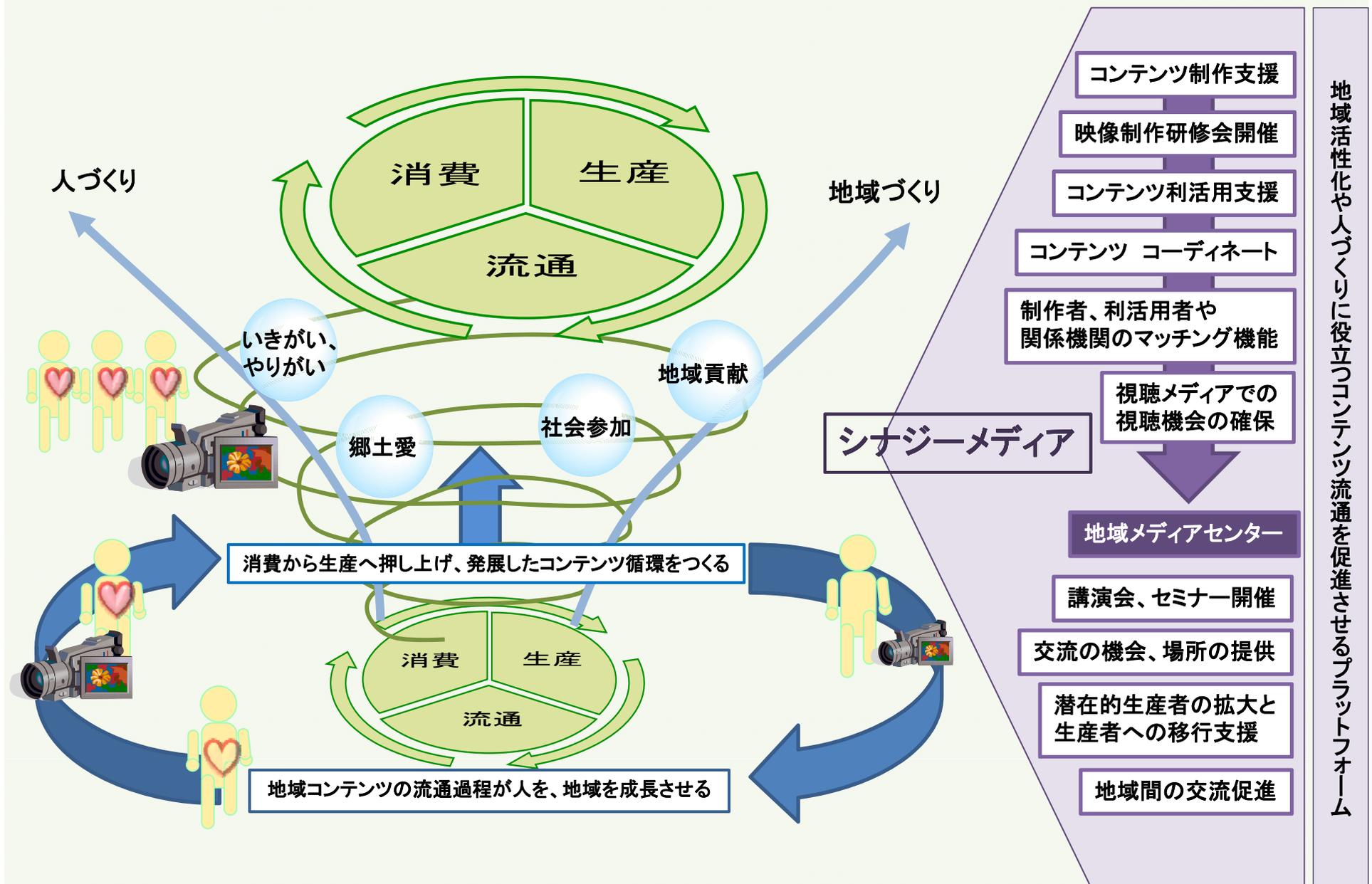


地域コンテンツを継続的に流通させるためのプラットフォームの構築

ハード面や技術的ノウハウばかりでなく、地域コンテンツ制作支援、地域コンテンツのプロデュース、地域コンテンツ管理、人的交流など地域コンテンツ流通に係わるトータルの機能を有する環境

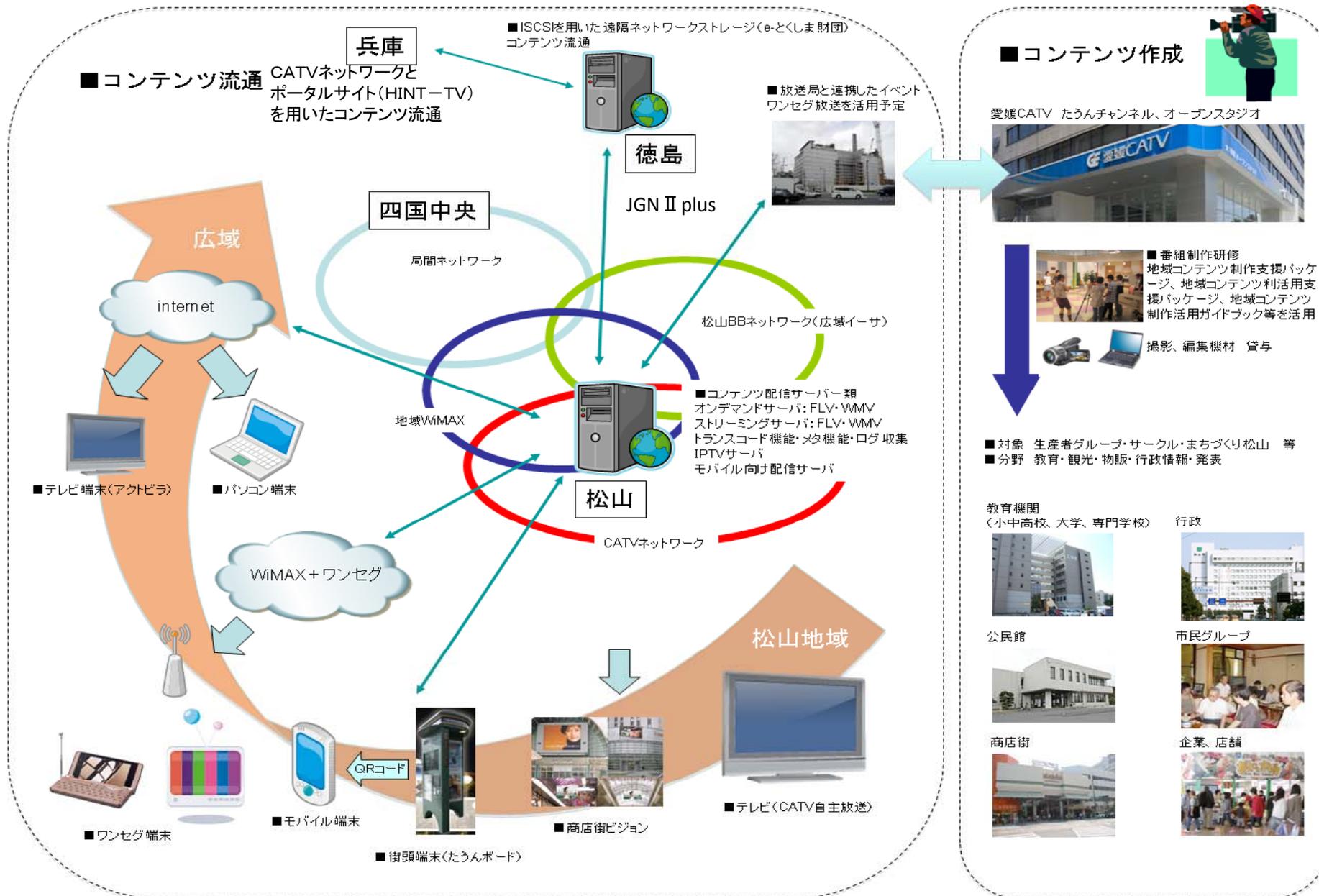
地域コンテンツの流通モデル化に関する調査検討会 報告書の概要③

地域活性化や人づくりに資する地域コンテンツ流通のイメージ
地域コンテンツ流通により地域や人を成長させることができる環境＝シナジーメディア



地域コンテンツの流通モデル化に関する調査検討会 報告書の概要(参考資料)

実証実験に関するシステム構成イメージ



地域コンテンツの流通モデル化に関する調査検討会 報告書の概要(参考資料)

地域コンテンツを流通させるシステム等の実証実験の結果 (実証実験に関する結果概要一覧)

実証実験内容	実験期間	実施対象 (研修、配信対象等)	課題、可能性等	備考
映像制作研修会	平成21年9月 から 平成22年1月 (5箇所)	生産者 一般市民 行政職員	地域メディアセンター、メディアパッケージの確立と実現が必要	継続開催を望む声が多く寄せられた
MobileWiMAX とスポットワンセグを用いた移動体におけるサイネージ実証実験	平成21年12月 から 平成22年2月	伊予鉄道株式会社 市内電車(3両)車内	ネットワーク・アプリケーションに課題あり。	視聴者アンケートより好意的なコメント。活動推進・継続望んでいる。
ライブコンテンツのマルチユース・マルチウインドウ実証実験	平成21年11月2日 から 平成21年11月13日	まちづくりライブ(イベント) CATV配信 インターネット配信	マルチウインドウ化視聴者拡大の効果有り。	メディアパッケージへの組み込み
汎用性のあるIPTVサーバを用いた実証実験	平成21年11月 から 平成22年2月	STB 10台貸与 アクトビラ対応テレビ	基本的な動作検証終了 コンテンツ登録管理面の拡充が必要	地域コンテンツのプラットフォームとして活用可能
エリアワンセグスポットワンセグ実証実験	平成21年10月25日 から 平成22年1月31日	松山2day「しまウオーク」 「第48回愛媛マラソン」	情報提供の手段として有効だが、チャンネルプリセットの簡素化が必要	
iSCSI技術を用いたネットワークストレージの高速化について	平成21年11月 から 平成22年1月	徳島・愛媛・兵庫CATV	iSCSIによる高速ファイルシェア環境が構築可能	
広域インターネット配信 実証実験 (ポータルサイト実験)	平成21年11月 から 平成22年2月	ポータルサイト「HINT」での 動画配信 & 情報配信	プロモーション的な番組が有効。 コンテンツの即時性について課題あり	配信コンテンツについては好意的 実証実験システムはひとまず継続運用
番組流通 実証実験	平成21年12月 から 平成22年2月	徳島・愛媛・兵庫CATV松山 インフォメーション まちづくり松山	視聴効果有り 継続の為の枠組み組織作りが課題	地域メディアセンター、メディアパッケージの確立と実現により継続可能